



今月の表紙

貝見保育所の子どもたちが「とうふ」作りにチャレンジ。自分たちで育てた思い出いっぱいの大豆から豆乳をしぼり、にがりを入れて固まるまで、すべて手作り。大豆がとうふへと姿を変える過程を体験しながら、しっかり観察しました。【関連記事9頁】

地域人材育成

ダイヤモンドプラン事業	2~3
平成22年度秋季消防検閲式	4
第48回貝見町駅伝競走大会	5
貝見町小学校体育交歓会 他	6~9
町の話	10~11

あなたの力を地域に、そして町づくりに！

平成22年度地域人材育成 ダイヤモンドプラン事業

『ふるさと只見・人材育成講座』



▲カリキュラム作成会議

今回は、第1期生として『第6次産業を興す起業家の育成』についての講座を受講され、地域リーダーとしての知識や能力を修得されるため、頑張っておられる受講者の皆さんに現在の思いをお聞きしますので、事業の内容とあわせ、ご紹介します。

趣旨

今年度より教育委員会では各課と連携し、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業『ふるさと只見・人材育成講座』を開始いたしました。この事業は、基本的な知識・専門性・新たな課題への対応など幅広い知識を身に付け、多方面にわたる地域づくりをサポートする人材を1000人育成することを目的としています。この方々を中心に只見町がさらに元気で活気のある地域になることを目指し、本事業を展開してまいりますので、町民の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。

実施期間

平成22年度から平成23年度までの2年間の研修期間となります。(第1期生)

今年度の内容

今年度の研修は次のとおりです。スタートして3回の研修が終了しました。受講者は目標に向けて積極的に研修に取り組みいております。今後は、後半3回の研修が行われます。

▽前半.....

○7月22日

『地域資源を活かす』

福島大学経済経営学類教授

西川 和明 氏

○9月8日

『農工商連携と』

中山間地域活性化モデル

会津大学短期大学部

産業情報学科教授

森 文雄 氏

○10月19日

『カリキュラム作成会議』

(受講生主体)

▽後半.....

○11月25日

『6次産業が地域経済に』

もたらす効果とは

株式会社メルコレディ代表取締役

土田 勝広 氏

○1月21日

『観光事業40年』

株式会社いづみや代表取締役

片桐 俊輔 氏

次年度の予定

次年度の計画は、10月19日の受講生を中心としたカリキュラム作成会議が行われ、①地産地消のあり方を考える、②特産品の生産・加工・販売の構築、③農家レストランの仕組みについて視察、④只見米の付加価値の創造、という意見や要望が意欲的に出されましたので、これを基本として今後、研修カリキュラムを考案・作成していきます。

次年度以降の方針

当初は10年計画で本事業をすすめることにしていましたが、いづれも重要かつ喫緊の課題であることから、5年間で推進すること検討しております。平成22年度末には第2期生として、『産業を興す人材』や『集落の再生・課題を解決する人材』の受講生を募集する予定です。こちらにも、目的が達成される優秀な人材を育成していくため、充実した講座を計画していきたいと考えております。皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

○2月5日

『松下政経塾 視察研修』

受講者11名の 思いは〇〇〇



舟木 晋太郎さん (小林)

私がこの研修に参加した目的は単一業種だけでは限界があり、農業・工業・商業が連携し新しい産業を起こすきっかけを見つける為に参加しました。今まで2回の研修に参加しいろいろな人と意見を交換する事で新しい発見ができています。これからは目標を設定し達成できればいいと思います。



三瓶 清志さん (大倉)

只見町は現在農業も商工業も大変厳しい状況である。この研修を通して、農業と他産業が手を取り合い、只見町の産業発展に貢献できれば幸いです。私はまず農業者として第1次産業でしっかりとした土台を作り、1×2×3=6次産業の基礎を築きたい。



佐藤 弘さん (叶津)

只見町には、起業をするのに必要な天然素材が多くあると思います。その天然素材を活かし、自分ながらの夢を実現したいと考えております。そして、この2年間の講習会等で学ぶであろう知識と、専門の方々のアドバイスを受けながら実のある物に仕上げていきたい。



目黒 道人さん (楡戸)

毎回、講師の先生には実践的な事例を紹介していただけるので勉強になります。一方で「過去にも立派な先生がいろいろ来たがモノになっていない」(事情通)という残念な話も聞きますので“お決まりパターン”に陥らないよう楽しんで参加したいと思います。



目黒 広信さん (塩ノ岐)

仕事、年齢、地域、発想も違いいろいろ感心させられます。また、研修もたいへん参考になります。何かの形にできればと思っています。



新国 真也さん (只見)

中山間の不便な土地と向き合って農業を営んできましたが、研修を重ねるたびに不便に感じていた物が資源だと思える様になりました。只見の資源を活かして通年で農家が働ける産業を作りたいです。また、次世代が只見町に起業家としてどんどん残れるようなモデルになればうれしいです。



山内 翔さん (二軒在家)

生食販売用に生産した野菜やキノコの余剰分を加工販売できる施設や仕組みを作りたいと思っています。知らない事が多過ぎるので勉強したいと思います。



山内 幸三さん (布沢)

今春定年を迎え、町づくりに役立ちたいと考えておりました折、研修生の募集がありました。集落内には既に6次産業を志向している方もおられます。地域づくりは単に競争ではなく、あせらずに地域の人々と手を組み、シンプルに芽を伸ばし、夢に繋がたいと考えます。



星 美弥子さん (小林)

今回の最大の喜びは地元素晴らしい若い人が沢山おられることです。それに余力のある熟年層の経験と実力をプラスしてそれぞれが知恵を出し、思いを語り合い団結し、行動すれば最高の町づくりになります。宮沢賢治の言葉を借りて「世界(只見)全体が幸福にならなければ個人の幸福はありえない。」



吉津 健さん (黒谷)

様々な分野の方々と研修をさせて頂き、只見町を見直し、新鮮な気持ちで、地域の宝を活用し新しい産業や地域活性化に結びつけたいと思います。大変貴重な時間を頂き感謝しております。



目黒 孝幸さん (只見)

6次産業とは「地域の宝」の掘り起しであり、そこに生産・加工・流通が加わることで相乗効果が期待される産業ではないかと考えます。疲弊している地域経済を立て直すヒントがあるのではないかと考えます。今回の研修でそのヒントを見つけていきたいと考えています。

子防消防に努め 訓練のさらなる充実を胸に

平成22年度秋季消防検閲式



▲通常点検を受ける消防団員

秋空のもと明和小学校校庭を会場に10月24日、秋季消防検閲式が行われ、消防団員210名、婦人消防隊員30名とポンプ車3台、小型動力ポンプ付積載車9台が参加しました。

検閲官の目黒町長による検閲宣言の後、閲団、通常点検、小队訓練、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などが整然と行われました。

検閲官による訓辞講評では、「消防は地域の第一線活動機関。地域住民の生活安定向上、生命財産を守る重要な役割を担っています。今後も消防の重要性を認識され、町民の安全安心のため予防消防にご尽力ください」と述べました。

続いて、表彰及び感謝状の贈呈と来賓の方による祝辞がありました。また、受賞者を代表して第5分団第3機動班の舟木晋太郎さんから「消防精神の士気

高揚と消防活動の充実に努力します。皆様のご指導をお願いいたします」と謝辞が述べられました。受賞者は次の方々です。

(敬称略)

【消防団長表彰】

●優良章

酒井正裕(只見)、河原田友成(只見)、新国真也(只見)、目黒達矢(只見)、馬場新樹(蒲生)、馬場正英(蒲生)、目黒隆(小川)、山田秀之(黒谷)、大竹真也(布沢)、舟木晋太郎(小林)、川原田史紹(小林)、梁取正孝(大倉)、三瓶達也(大倉)

●精績章

佐藤圭介(只見)、五十嵐幹哉(蒲生)、長谷部孝男(叶津)、三瓶金市(蒲生)、渡部和志(福井)、本名俊之(福井)、目黒辰也(小川)、佐藤隆一(福井)、藁谷友活(亀岡)、馬場秀明(坂田)、梁取智之(坂田)、角田祐介(坂田)、小林晋(布沢)、角田修(小林)、五十嵐陽一(二軒在家)、角田順一(大倉)、菊地博(梁取)、菊地伸(梁取)

●功績章

横山慎(楢戸)、渡部圭(楢戸)、五十嵐一幸(福井)、渡部賢史(福井)、渡部隆義(福井)、目黒隆(小川)、渡部典高(小川)、小沼守(福井)、佐藤隆一(福井)、三瓶宏勝(福井)、堀金瞬(福井)

【消防庁長官表彰】

●永年勤続功労章

鈴木好行(只見)

【福島県知事表彰】

●永年勤続章

三瓶一也(寄岩)、梁取克昌(長浜)、五十嵐良平(只見)、菊地政雄(楢戸)、三瓶俊彦(楢戸)、横山修一(楢戸)、五十嵐修(蒲生)

【優良青年消防団員章】

芳賀沼智(黒谷)

●感謝状

馬場光男(塩ノ岐)

【日本消防協会表彰】

●功績章

目黒敏(小林)

●精績章

鈴木好行(只見)、目黒邦友(只見)

●勤続章

本名誠(黒谷)、菅家和人(只見)、船木弘輝(黒谷)、山内一豊(布沢)

【福島県消防協会表彰】

●功績章

佐藤長次(大倉)

●精勤章

星正春(小林)、本名高喜(黒谷)、新国善記(只見)、五十嵐良平(只見)

●勤続章

酒井伸幸(只見)、藤田喜郎(只見)、大竹健一(只見)、中野大徳(叶津)、馬場一義(蒲生)、栗木隆行(福井)、目黒公二(福井)、吉津保夫(黒谷)、五十嵐伸(黒谷)、鈴木浩二(黒谷)、梁取守(坂田)、馬場克夫(梁取)

●感謝状

馬場光男(塩ノ岐)、目黒敏(小林)、横山信市(楢戸)、五十嵐昭(蒲生)、五十嵐修(蒲生)、佐藤強(只見)、梁取典也(小林)、横山厚彦(只見)

【消防団退職表彰状(銀杯)】

●退職報償

馬場光男(塩ノ岐)、目黒敏(小林)、佐藤強(只見)、五十嵐修(蒲生)、梁取典也(小林)、横山信市(楢戸)、目黒衛男(只見)、横山厚彦(只見)、五十嵐昭(蒲生)、五十嵐三喜雄(蒲生)、船木清人(黒谷)、目黒義孝(小林)、横田雄司(大倉)

【消防施設用地提供協力者】

只見町長感謝状

●感謝状

酒井正一(寄岩)、佐藤好正(福井)、吉津祐和(黒谷)、飯塚恒夫(坂田)、目黒吉久(坂田)、梁取英夫(坂田)、梁取徳雄(坂田)、小林咲江(埼玉県三郷市)

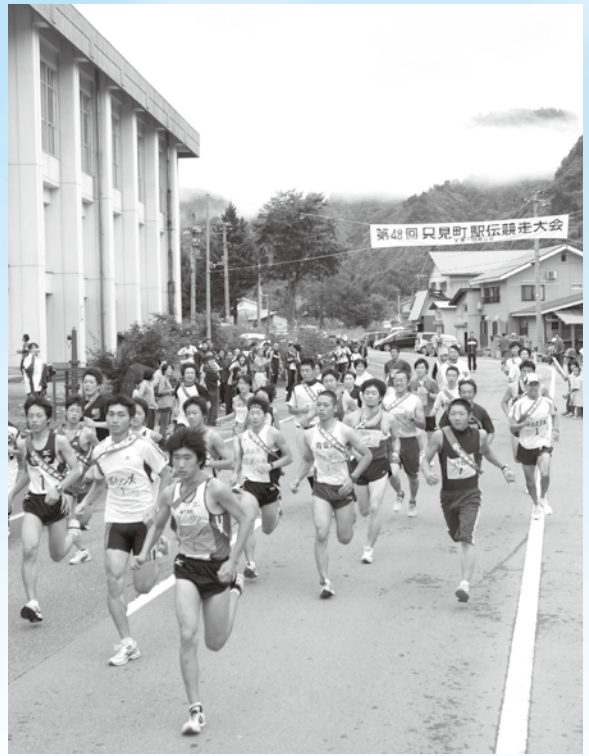
【只見町長・只見町消防団長 連名感謝状】

●感謝状

只見町婦人消防隊 明和分隊



▲小型ポンプ操法



▲一斉にスタートする32チームの選手

ときおり陽のさす秋空が広がった10月10日、只見町体育協会などが主催する第48回只見町駅伝競走大会が町下の教育委員会前から小林の山里橋折り返しなどのコース（最長37・9km）で開かれました。選手は号砲とともに一斉にスタート。さわやかな秋空のもとで健脚が競われました。沿道の声援に後押しされ、元氣付けられたランナーは、全力で走り抜き、爽快な汗を輝かせタスキをつないでいました。

る舞われました。選手は走り切った満足感に浸りながら笑顔で食べていました。成績は次のとおりです。

【中学男子の部】

- ① 荒海中学校野球部（1時間58分20秒）
- ② 館岩中学校 A
- ③ I LOVE只見（只見中学校）

【中学女子の部】

オープン参加のため入賞チームなし

【一般女子の部】

- ① 爆走戦隊（1時間38分01秒）
- ② ポカレデイス
- ③ 荒海ロングランレディース

【一般男子の部】

- ① 走レンジャー（2時間05分17秒）
- ② 消防署 A
- ③ 南会津高校スキー部

また、昨年に続き今年も只見ランナーズ及び只見町食生活改善推進員の皆さんのご協力による無料トン汁コーナーが設けられ、準備された約500食が振

さわやかな秋空に 鳴り響いた号砲



▲笑顔の表彰式



▲ゴールテープを切る選手



▲ほぼ同時にタスキわたし

あったか〜い トン汁コーナー



▲食生活改善推進員の皆さん

ベストを尽くし自己の記録に挑戦 只見町小学校体育交歓会



スポーツの秋にふさわしい只見町小学校体育交歓会が、10月6日に町下運動広場で開かれ、只見、朝日、明和の小学生73人が陸上競技を通じて親睦と交流を深めました。

開会式では、朝日小学校6年の渡部めいさんが開式の言葉を述べ、大会会長あいさつで齋藤修一教育長は「体育交歓会での交流を通して友達をつくってください。また、体力の向上に努め自分に勝ってください。健闘を期待します」と述べました。

続いて、横山大太郎教育委員長の来賓祝辞があり、その後、明和小学校6年の高木竹徳君が元氣よく選手宣誓し競技がスタートしま



▲男子100m走で力走する児童

全力を出し切り競技に臨む児童に、詰めかけた保護者や町民の方からは大きな声援が送られていました。競技終了後の講評で実行委員長の高橋好明和小学校校長は「特に朝日小学校の活躍が目立ちました。中学校ではともに各大会に出場します。今まで以上に頑張ってください。これから皆さんの活躍を期待しています」と述べました。

どの小学校も、児童と先生が丸となり、競技に集中していました。また、友達達の勝利を信じ、心のこもった応援を送る姿が印象的。なすばらしい大会でした。

第40回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表

女子100M走				女子80Mハードル				女子800M走				女子4×100Mリレー		
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名	記録
1	齋藤 咲希	6	明和	15"7	渡部 優花	6	朝日	14"2	目黒 百華	6	朝日	2'53"6	朝日A(菅家、渡部、目黒、星)	1'06"6
2	菅家ともみ	6	朝日	16"6	栗城 涼花	6	明和	15"2	馬場 楓	6	明和	3'06"0	明和A(齋藤、高橋、馬場、栗城)	1'08"9
3	酒井 結咲	5	只見	16"8	若林 愛梨	5	明和	17"2	山内 綾	5	只見	3'12"6	只見A(酒井、大竹、渡部、馬場)	1'10"0
4	星 一穂	6	朝日	17"1	高橋 涼花	5	明和	17"4	大竹 まい	6	只見	3'15"2	朝日B(小林、山中愛、渡部、山中綾)	1'10"2
5	渡部 瑠唯	6	朝日	17"2	渡部帆七海	5	只見	17"5	山中 愛梨	5	朝日	3'15"7	只見B(長谷川、佐藤、酒井、山内)	1'12"7
6	目黒 眞子	5	朝日	17"3	佐藤 有佳	5	只見	18"8	角田妃菜子	5	明和	3'18"8	明和B(角田、川原田、菅家、若林)	1'14"4
男子100M走				男子80Mハードル				男子1,000M走				男子4×100Mリレー		
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名	記録
1	加藤 正靖	6	朝日	14"0	馬場 真樹	6	只見	13"8	星 風吹	5	朝日	3'27"8	朝日A(星、加藤、伊藤、増田)	1'00"6
2	高木 竹徳	6	明和	15"2	馬場那央也	6	明和	14"7	伊藤 舜	6	朝日	3'32"3	只見A(菅家、目黒、鈴木、馬場)	1'03"8
3	目黒 翼	6	只見	15"8	増田 寛	6	朝日	15"4	梁取 陸	6	明和	3'44"4	明和A(梁取水、梁取陸、高木、馬場)	1'04"0
4	目黒 豊	5	朝日	16"0	鈴木 道也	5	只見	16"6	鈴木 遙大	5	只見	3'47"2	朝日B(目黒裕、吉津、八久保、目黒豊)	1'06"7
5	菅家 雄矢	6	只見	16"2	飯塚健太郎	5	明和	16"7	梁取 水咲	5	明和	3'50"0	只見B(目黒、上野、鈴木、三瓶)	1'09"3
6	目黒 悠	5	只見	16"3	新國 陸	5	只見	18"0	吉津 悠真	6	朝日	4'04"0	明和B(山内勇、山内光、菊地、菅家)	1'12"2
女子走り幅跳び				女子走り高飛び				女子ソフトボール投げ						
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録		
1	目黒 百華	6	朝日	340cm	渡部 優花	6	朝日	124cm	若林 愛梨	5	明和	37m15cm		
2	栗城 涼花	6	明和	329cm	山中 綾乃	6	朝日	110cm	馬場 楓	6	明和	36m61cm		
3	菅家ともみ	6	朝日	312cm	齋藤 咲希	6	明和	110cm	河原田美咲	6	明和	30m27cm		
4	渡部 めい	6	朝日	308cm	馬場 友香	6	朝日	100cm	高橋 涼花	5	明和	30m12cm		
5	長谷川夏美	6	只見	307cm	佐藤 有佳	5	只見	100cm	目黒 眞子	5	朝日	29m80cm		
6	渡部 瑠唯	6	朝日	298cm	酒井 雪音	5	朝日	95cm	星 一穂	6	朝日	28m43cm		
男子走り幅跳び				男子走り高飛び				男子ソフトボール投げ						
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録		
1	加藤 正靖	6	朝日	380cm	馬場 真樹	6	只見	120cm	伊藤 舜	6	朝日	63m83cm		
2	目黒 翼	6	只見	375cm	梁取 陸	6	明和	118cm	馬場那央也	6	明和	62m15cm		
3	星 風吹	5	朝日	366cm	増田 寛	6	朝日	115cm	目黒 豊	5	朝日	49m30cm		
4	高木 竹徳	6	明和	357cm	三瓶 晃一	6	只見	105cm	吉津 悠真	6	朝日	48m70cm		
5	目黒 悠	5	只見	316cm	鈴木 遙大	5	只見	105cm	目黒 誠也	6	朝日	47m74cm		
6	目黒 裕大	5	朝日	310cm	八久保洋介	5	朝日	105cm	菅家 雄矢	6	只見	40m05cm		

みんなが主演

只見中学校学習発表会

みんながヒーロー

第4回只見中学校学習発表会「紅葉祭」は「Hero（ヒーロー）」をテーマに10月17日、同校体育館などで行われました。生徒全員がヒーローとなり活躍できるといふ思いが込められたテーマが掲げられた紅葉祭は、開会行事に続き、スキット・英語弁論発表や生活文化部の英語劇、1から3年生の主張発表、合唱コンクールなどが午前

中に行われ、クラス別の合唱にあわせ、特設合唱部の発表や全校合唱が披露され、どれも日頃の練習の成果が発揮された清らかで美しい歌声が響き渡りました。

午後からは、各学年の教室とスペースを利用し総合学習で取り組んだことについて、1年生は只見夢プロジェクト仮想商品販売、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行で学んだ関西の歴史と文化などを、それぞれに趣向を凝らし楽しくユーモラスに分かりやすい表現で発表、大勢の保護者や家族、町民の方が集まり、熱心に発表する生徒に心から拍手を送っていました。

各学年のスペースなどには生徒の学習成果が伝わる作品の数々が展示され、保護者などの目を引いていました。この日はPTAバザーや模擬店も開かれ、賑わいを見せていました。全体的なプログラムがテーマのとおり、生徒みんながヒーローとなる構成になっていて、みんながアイデアを出し力を合わせた。

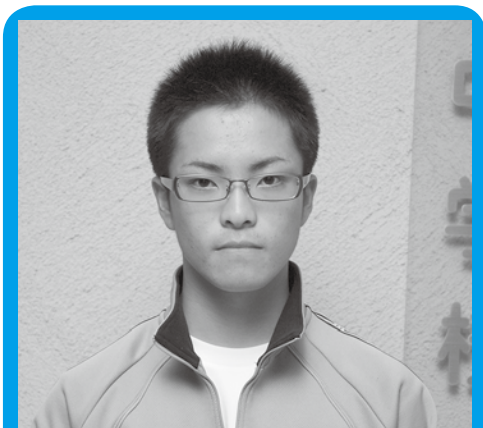


▲思いをひとつに、実力を出しきったクラス別合唱

各学年のスペースなどには生徒の学習成果が伝わる作品の数々が展示され、保護者などの目を引いていました。この日はPTAバザーや模擬店も開かれ、賑わいを見せていました。全体的なプログラムがテーマのとおり、生徒みんながヒーローとなる構成になっていて、みんながアイデアを出し力を合わせた。



▲只見夢プロジェクト仮想商品販売(1年生)



実行委員長
五十嵐 浩佑さん(3年)

一人一人が活躍し、その成果が未来につながるようお願い、生徒会でテーマを決めました。期間のないなか、みんなで準備をしてきたので、楽しく、みんながヒーローになれた紅葉祭となり本当に良かったと思います。



◀ヒーローフラッグ

只見町商工会創立50周年記念式典祝賀会

只見町商工会の創立50周年を記念しての式典が、10月20日に季の郷湯ら里で行われ、150名が出席されました。

はじめに、菅家俊一商工会会長があいさつで「商工会は築いた50年の蓄積をもとに、新たな時代に向かって歩み出します。地域に貢献する商工会、地域に信頼される商工会づくりを目指し、会員および関係団体、地域の方々、地域全般の発展のため新しい商工会像を確立していきます」と述べました。

工会の運営や活動に尽力された方、功績のあった方などに、菅家会長から感謝状や表彰状が手渡されました。

受賞者を代表し、前商工会長の目黒千代作さんが「地域の商工業の発展に今後も尽くしていきたい。商工会のさらなる発展を祈念します」と謝辞を述べました。

最後に、目黒町長はじめ7名の方が祝辞を述べ、祝電が披露され、式典は終了しました。引き続き祝賀懇親会が同会場で行われました。



▲菅家商工会会長から感謝状を受ける目黒千代作前商工会会長(左)

只見町名誉町民「皆川迪夫」氏が死去



▲故 皆川迪夫氏

只見町名誉町民第1号であり、皆川迪夫氏(東京都世田谷区在住)が、10月12日に亡くなられました。享年90歳でした。

名誉町民は、町制施行40周年にちなんで平成11年度に制定された「只見町名誉町民条例」に基づくものであり、町民及び当町出身者で町内外において各分

野で活躍されている方に対し、郷土の誇りとしてその業績と榮譽を称え、長く町民の師表とすることを目的に制定されたものです。

故皆川迪夫氏は只見町田子倉のご出身であり、氏は、只見町内の高等小学校時代から向学心に燃え、東京帝国大学を卒業後、昭和19年旧内務省(現総務省)に奉職され、公務員の最高位といわれる総理府総務副長官を退官されるまで32年の長きにわたる地方自治振興のために活躍をされました。その間、官房長、行政局長、総理府人事局長などの要職を歴任され、特に昭和36年から2年間は福島県総務部長

として、本県の振興発展に多大な貢献をされました。

また、退官後は、全国町村会事務総長、中央選挙管理委員長など数々の要職を歴任され、多方面にご活躍をされました。

このような地方自治功勞のご功績により、平成5年春には、勲二等旭日重光章を受章されるなど、氏のご活躍は只見町としても非常に誉れであり町民の誇りであることから、平成12年1月5日只見町初の「名誉町民」の称号をお贈り申し上げたものです。

故皆川迪夫氏のご事績を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。

只見町名誉町民 故皆川迪夫氏のご遺族が「自然首都・只見応援基金」に寄附

只見町名誉町民故皆川迪夫氏のご遺族、皆川京子さん(東京都世田谷区在住)より、地域振興に役立ててくださると「自然首都・只見応援基金」に100万円のご寄附がありました。

寄附金は、皆川氏の長男、皆川公一さんが10月22日に役場本庁を訪れ、町長室において、目黒町長に手渡されました。

いただいたご寄附は、町の将来のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

福島県知事選挙

只見町開票区：開票結果
(平成22年10月31日執行)

佐藤 ゆうへい (無所属) 3,283.061
佐藤 かつろう (日本共産党) 235.938
【投票率：83.92%】

大豆の変身・とうふ作りに挑戦
ちやれんじ農園サポート事業



▲「めっちゃおいしい」

福島県が進める食育推進事業の一つ「ちやれんじ農園サポート事業」が10月29日に只見保育所で行われ、年長児と年中児19名が、とうふ作りにチャレンジしました。保育所児が世話をし、収穫した大豆を使用、只見町食生活改善推進員の方など10名が指導され、初めてのとうふ作りを体験した保育所児は、大豆の香りが漂う豆乳が温められている鍋を丁寧にかき混ぜたり、作る過程でできる「おから」を食べたりしながら、とうふの作り方を学んでい



▲できたてのとうふを手に記念の1枚

ました。また、にがりを混ぜた豆乳が少しずつ固まる様子を不思議そうに見ていました。最後に、固まったばかりのとうふをスプーンで頬張った保育所児は、思わず「めっちゃおいしい」と笑顔で話しました。このような体験から子どもたちの食べ物や食への関心が高まることを期待したいと思います。

しあわせ金婚夫婦表彰式

平成22年度しあわせ金婚夫婦表彰式は、10月13日に只見地区センターで行われ、町内で33組のご夫婦が表彰されました。

星素行只見町老人クラブ連合会会長が「これからも健康に留意され、ダイヤモンド婚式を迎えられるよう、お二人仲良く長生きしてください」とあいさつされた後、只見、朝日、明和地区の代表ご夫婦に表彰状と記念品が手渡されました。続いて、目黒町長、五十嵐拓町議会議長、須釜豊和福島民報社南会津支局長が祝辞を述べました。謝辞では只見の目黒仁一郎さん、チエ



▲表彰状が贈られた金婚夫婦

さんご夫婦が「地域の皆様のご温情にふれながら、さらに頑張つて豊かな人生を送り、町のために尽くしていきたいです」と感謝の意を表されました。

宇多喜代子氏による俳句授業

中学3年の国語の教科書に俳句について執筆され、多くのテレビ出演もされている山口県出身の俳人「宇多喜代子氏」が、10月20日に只見中学校を訪れ、3年生を対象に国語の授業をされました。

教科書に執筆されている宇多先生ご本人を目の前にして生徒も緊張した様子でしたが、貴重な授業なので、宇多先生を見つめ真剣に教科書や資料の内容について学んでいました。宇多先生は、全国的にこのような俳句の指導を行なっております。

1日駅長 (30日)

めぐろ たくまくん(右)
めぐろのぞみさん(中)
あさの れいくん(左)

SL会津只見号 運行10周年 記念

奥会津ふれあい おもてなし祭り

S L会津只見号の運行10周年を記念して「奥会津ふれあいおもてなし祭り」が、10月30日と31日の二日間、只見駅前広場で開かれました。

恒例となったS L会津只見紅葉号の運行にあわせ催されたこのイベントには、只見、金山、昭和、三島、柳津の各町村が地元の特産品などを販売したほか、特設ステージでは郷土芸能が披露されるなど、おもてなしの心が行き届いた祭りとなり、S Lで紅葉を楽しみながら訪れた乗客も奥会津の食べ物を味わったり、芸能発表を見物するなど思い思いに只見の秋を満喫していました。

1日駅長 (31日)

やまうち ゆうとくん(右)
おおたけ ゆうまくん(中)
よこやま こうだいくん(左)

虫歯のない子

10月27日 3歳児健診



ばば きよは
馬場 清春さん
(黒谷)



さとう らむ
佐藤 来夢さん
(大倉)



やざわ みゆう
矢沢 実優さん
(二軒在家)



さんべ つかさ
三瓶 司くん
(樫戸)



さんべ さき
三瓶 咲季さん
(黒谷)



わたなべ るい
渡部 琉生くん
(小川)



さたけこうたろう
佐竹孝太郎くん
(黒谷)



▲表彰状を手にする長谷部浩司さん

索 (株) 会津ただみ振興公社が受賞 索道事業で10年間無事故

索道運転事業が10年間無事故の事業者として(株)会津ただみ振興公社が東北運輸局長表彰を受賞されました。只見スキー場のリフト運行が平成12年から平成22年までの間、無事故であったことから表彰されました。表彰状は10月15日に仙台市で行われた「鉄道の日」記念式典の席上、清谷伸吾東北運輸局長から長谷部浩司さん(同公社職員)に手渡されました。

子 みんなで伊南川座談会 めらが遊び魚がよるこぶ元気な川に

奥会津元気回復協議会(代表・酒井秀明さん)では尾瀬を源流とする伊南川の多様性回復とふれあい創造事業に昨年から取り組み、子どもが楽しく遊べる川、魚のすみやすい川づくりを目指し、専門家を招いての現地講習や調査を行なっています。その一環として10月26日に朝日地区センターで座談会が開かれ、環境改善について意見や要望が出されました。この意見などは今後の活動に反映されます。

▼伊南川の未来を考え活発な意見交換



雑 第9回ブナセンター講座 キノコの見分け方を語る

只見町ブナセンターでは、10月23日にキノコの講演会を行い34名が参加しました。講師には、溪流釣りやキノコに詳しい瀬畑雄三さんを迎え、クサウラベニタケなど間違えやすい毒キノコや、町民の方はあまり食べない雑キノコについて、スライド写真を見ながら説明を受けました。また参加者が集めたキノコをブナセンターの入り口に並べ、瀬畑さんに鑑定していただき、盛り上がりました。



▲採ってきたキノコを並べて鑑定

道 祖父母参観・秋の交通指導 路の歩き方を学ぼう!



▲道路横断の指導を受ける保育所児

只見保育所では、祖父母参観にあわせ交通指導が10月15日に行われました。大好きなおじいちゃんや、おばあちゃんと手をつないだ保育所児は、実際に道路を歩き、上手な横断の仕方や安全な歩き方などの指導を受けました。役場前の交差点では、信号が青になるのを確認し、元気に手をあげ横断歩道を渡っていました。ドライバーの皆さんも思いやり運転をお願いします。

観 地域資源を活かした観光振興を学ぶ研修会 光まちづくりのポイント学ぶ



▲ブナと川のミュージアムを見学する参加者

財団法人電源地域振興センターでは、講師に清水愼一立教大学観光学部特任教授を迎え、奥会津地域を会場に地域資源を活かした観光振興を学ぶ研修会を10月25日から27日に行いました。参加者は19名、26日には観光資源視察として田子倉ダムや、ただみ・ブナと川のミュージアムなどを見学され地域資源を活用したまちづくりを学ばれました。

感動をありがとう!

只見小学校(10月24日)



朝日小学校(10月31日)



明和小学校(11月7日)



小学校学習発表会

Anna先生のLife in JAPAN Vol.1



■ Anna・George
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

私が只見に来てから、早くも三カ月が経とうとしています。時が経つのは早いですね！只見に来てから、たくさんの人に出会い、たのしいことやおもしろいことを経験しました。みなさん温かく優しく迎えてくださって、もうここが我が家のような感じですね。また、私は日本食にチャレンジすることが好きで、もっとたくさん経験したいなあと思っています。

私は只見の山並みの美しさに感動しました。イングランドの私が住んでいた所は、とても平らな土地なので、ちゃんとした山を見たのは初めてなんです。



秋には美しく色を変えると聞いています。楽しみです！

10月に只見中学校では文化祭がありました。私も参加できて楽しかったです。文化祭がおもしろかったことと、生徒が文化祭に向けて一生懸命準備をしていたことがとても印象に残りました。来年も、参加したいなあと思っています。

最近めっきり寒くなりましたね。こんなにも早く寒くなったことに驚いています。最近ばかりはコタツを使いました。イングランドにはコタツのようなものはないのですが、寒いときに使うのはとてもいいですね！

スノーボードに挑戦できるので、雪が降ることを楽しみにしています。スノーボードは挑戦したことはありませんが、楽しそうです。日本で、たくさんウインタースポーツに挑戦したいなあと思っています。

(訳・只見中・福地)

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 星野 弘尊

「感冒（風邪・かぜ）」

夏が去り、秋を楽しむ間もなく冬に突入です。いかがが過ぎでしょうか。

冬は乾燥し、寒さのため暖房などを使用するとますます乾燥します。その結果、感冒が多くなつてきます。今年もインフルエンザの流行も懸念され、昨年同様、予防が大変重要になっていきます。

皆さん、正しい知識を持ち、正しい予防法を行えるようになりませんか？

これからの時期を健康で過ごすために正しい知識を再度確認していきましょう。

感冒の定義は様々です。鼻腔、口腔、咽頭などの上気道の粘膜が、寒冷などの刺激、ウイルス感染によって、急性の炎症を起こす病気とされています。いわゆる『かぜウイルス』と呼ばれるものは、ライノウイルス、コロナウイルスなど200種類以上います。

くしゃみ、鼻水、咽頭部不快感、乾性の咳嗽、全身倦怠、軽度の頭痛などを主症状とし、透明な鼻汁の増加、咽頭部の発赤などを呈します。かぜによる症状の持続期間は平均2〜3日程度です。しかし、咳嗽は1週間以上持続する場合があります。人によっては気道過敏性が亢進し、一カ月以上続く場合もあります（マイコプラズマなどの場合もあります）。

治療には通常、抗生物質は使用しません。東洋医学では漢方薬、西洋医学では解熱剤等の対症療法が中心です。しかし、発熱に関しては一種の生体防御反応であり、解熱が自然治癒力を低下させ、かぜを長引かせている可能性も指摘されています。ただし、高齢者や幼児などは激しい発熱による脱水、消耗等を回避するため適切に使用することが必要です。

さて、一番大切なことは、『予防』です。手洗い、うがい、マスクの着用、湿度を保つ、十分な睡眠や休養、暴飲暴食をやめる、禁煙、受動喫煙を避ける、節酒などがあげられます。

特に手洗いは帰宅後には行い、持ち込んだウイルスを家具等につけないようにします。うがいは水道水で効果十分です。ヨード入りのうがい薬は、かぜ予防の効果を低下させるといふ報告もあります。マスク着用はウイルスの侵入を防ぎ、口腔粘膜の乾燥を防ぐ効果もあります。その他の項目は『免疫』を働かせるために必要です。

気温が低く、乾燥し、かぜをひきやすい季節です。就寝中はできるだけ暖房をつけっぱなしにせず、加湿器などを用い、適度な湿度を保つようにしてください。今年の冬も元気に過ごすために予防を徹底し、只見の冬を乗り切りましょう。

町史

つとのおきの話

196

神奈川大学非文字資料研究センター協力研究者

ルシーニュ・フレデリック



社会変化と自然環境との関係を扱う博物館を指します。

世界のエコミュージアムは、

前回まで只見町インターネット・エコミュージアムの構築にあたっては、地理・歴史上の独特な環境下で形成された只見町の民俗文化の貴重性があり、生活が近代化していくなかで町民自身の手によって民具の収集・記録運動が行われたという二つの好条件があったことを述べてきました。今回は、エコミュージアムとインターネット上の博物館の方針について話をしたいと思います。

エコミュージアムは1960年末、フランスのジョルジュ・アンリ・リビエール (Georges Henri Riviere) によって発想

され提唱された博物館の概念です。フランス語でエコミューゼ (ecomusee) と言いますが、日本では「エコミュージアム」というネーミングで親しまれています。「エコ」は環境学、「ミュージアム」(ミュゼ) は博物館という意味ですが、それは自然生態と社会生態も含んでいます。主に人間の日常的な営みと

産業革命の影響を受ける前、あるいは受けた直後の農業地域の文化(いわゆる「田舎の伝統文化」)を対象にすることが一般的です。博物館内に復元された現場で展示物(民具等)を見て触れたり、地元の話者から話を聞いたりできる展示方法を採用して、よく屋外にも展示物が設置されています。リビエール氏によって提唱されたエコミュージアムの理念は、常に地元

の住民と連携しながら維持すべきであり、とくに博物館が社会に還元することを重要視してきました。

只見町インターネット・エコミュージアムの基本方針もこれと同じで、ウェブ上の博物館で採用することを考えたものです。ただ、インターネット上で見られるデジタル式の博物館ですから、明らかに特殊な問題があります。というのは、紹介している内容が只見町の民具や生業、そして昭和30年代の高度経済成長期まで残っていた伝統

的な生活様式全般であり、そのすべてはアナログ式の世界なのです。只見町インターネット・エコミュージアムは、対象としてのアナログ式の文化とメディアとしてのデジタル式のインターネットを扱っているだけに、両方の特徴を強く意識する必要があります。インターネットの性格を明確に把握し、その機能を活かすことにも苦心しましたが、現実と仮想現実の間で使い手に錯覚を起こさせるような3D映像などのバーチャルリアリティ(仮想現実)を軸にした空間を構築しない基本方針を決めました。

したがって、現在のところウェブ上に掲載している資料は、民具カードのほかに、作業工程表、写真、図式、映像、文章などで、これからまたその種類が増えるかもしれませんが、それらの資料を交差させることによって、只見町の人々の暮らしが再現されるのではなく、一人一人の使い手の頭のなかで認識されるような展示形態としました。

只見町インターネット・エコミュージアムは、先に述べた「住民と連携する」「社会に還元する」のほかに、「人間を中心に据える」「只見町の生活を正確に紹介する」「郷愁的(ノスタルジック)な情緒に傾倒しない」を理念として作成されています。これらの基本方針のもとに作成された只見町インターネット・エコミュージアムは、デジタル世界(インターネット世界)のなかに浮かぶ一つの「アナログ島」として発展させていけば、世界的な視点からみても極めて独創的なプロジェクトになるのではないかと期待しています。



▲仏アルザス地方のエコミュージアムのロゴと看板写真

◀只見町インターネット・エコミュージアムのフロントページ



町民文芸



只見短歌会

九月詠草

大塚栄一 指導

暑さ続く街のマネキン人形は早くも秋の装ひをなす
古川 英子

若きらが一週間ほど出掛けるに留守あづかれぬ老の身思ふ
吉津 政枝

床下に流木の炭敷き詰めて茶の間の畳の表替へする
皆川 恒子

車椅子の人や立ちゐる人もあり大きボールを苑で投げ合ふ
五十嵐 英子

家裏まで下り来し猿ら追はれば南瓜抱へて逃げ行きしとふ
渡部 ゆき子

稲架結ふに少し早目の畑作を除きて畝の地均しをしぬ
目黒 富子

朝ごとに胸張り新聞配りゆかむ背をまろめれば老いしるく見ゆ
五十嵐 夏美

稲刈りを目前にして彼岸入りの強き雨降り稲倒しゆく
馬場 八智

また一戸老いて離農をせしと言ふ若きらに従ふ老の心は
齊藤 ちひろ

小学生の鼓笛パレード秋晴れの町に響きて無事故を願ふ
渡部 ヨリ子

孫植ゑし軒の蔓薔薇この夏は窓まで伸びて花咲き揺るる
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

十月例会

目黒十一 指導

秋の川兵士送りし橋に佇つ
空き畑南瓜のつるのはい廻り
礼

湯屋までの右も左も蕎麦の花
秋晴れや林の奥の物暗く
洋子

塗師描く蜻蛉只今とまりたる
ゆさゆさと茅刈る土手に影長し
敦子

雨の中花こぼさずに花魁草
焦げ目つく芋の味噌煮を箸で追い
礼

身に入むやみな尖がって沢の石
いわし雲電波をつなぐ塔の建ち
修一

おかめして踊る御爺や敬老会
真白な絹雲流れ彼岸花
一灯

秋明菊白きを活けて六畳間
艶のよき小粋な茄子を丸漬けに

振り仰ぐ原爆ドーム透けて秋
水流る洞の時空や秋高し
恒夫

蒼天や遠目にも知る熊の架
園児たち草野に秋の遊びかな
吉児

運動会町内対抗リレー湧き
和太鼓の響きは空に秋まつり
邦男

只見ダム白く光りて秋の雷
鈴虫や古民家の窓夕迫る
隆堂

芋の秋錆びたことなき父の鎌
隣田の案山子頼りに晴れつづき
邦夫

いつの間に長湯となりし秋の雨
コスモスや久しき友の訪ね来て
康女

不自由を自由に看護秋日和
菜を刻み夕餉の支度ちちろかな
又壺歩

今年度の新型インフルエンザ ワクチン接種事業は、こうなります！

平成22年10月1日から今年度の新型インフルエンザワクチン接種事業がスタートしました。

すでに、新型インフルエンザワクチン接種を受けた方もおられますが、予防接種法及び新型インフルエンザの予防接種による健康被害等に関する特別措置法の一部が改正となりました。

<法改正の目的>

緊急措置として、今回の新型インフルエンザ（A/H1N1）及び今後これと同等の新たな「病原性の高くない新型インフルエンザ」が発生した場合の予防接種対応を万全にし、全国民に予防接種による免疫が得られる体制を強化することが目的です。

<法改正の主な内容>

1. 新たな臨時接種の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ（A/H1N1）及び今後これと同等の新たな臨時接種を創設 ・対象者は努力義務を課されないが、行政は積極的に予防接種を勧めます ・健康被害が発生した際の健康被害救済の給付水準の引き上げを行います ・生活保護及び市町村民税非課税世帯を除く方から実費徴収を行います ・接種費用、健康被害救済に関して国、県、市町村で費用を負担します
2. 国の責任によるワクチン確保	<ul style="list-style-type: none"> ・政府は新型インフルエンザワクチンの確保を行います ・今後、新型インフルエンザの定期接種を高年齢者以外も対象に実施できるようにすることを検討します

<いま、改めて新型インフルエンザワクチン接種事業をすすめる意味>

昨年と比べて、新型インフルエンザの患者さんは全国的に少なくなっています。しかし、過去の大流行を考えると、一度流行がおさまっても再流行する可能性があり、決して安心はできません。特に、基礎疾患（慢性疾患）をお持ちの方や妊婦の方などは、新型インフルエンザにかかったときに重症になる（肺炎や脳症などの重い合併症）可能性が高いため、ワクチンによる予防がとても大切です。このため、再流行に備え、かかったときの重症化を防ぐために、今年度、あらためて新型インフルエンザワクチン接種事業をすすめています。

<インフルエンザワクチンの接種期間・接種場所>

接種期間	<p>平成22年10月1日～平成23年3月31日までです。</p> <p>この期間のうち、実際にワクチンを接種できる日は、市町村や医療機関ごとに異なることがありますので、お住まいの市町村窓口や、接種を予定されている医療機関にお問い合わせください。</p>
接種場所	<p>国と契約した全国の受託医療機関</p> <p>今年度のインフルエンザワクチンは、新型インフルエンザワクチン接種事業（平成22年度）で国と契約した全国の診療所・病院（受託医療機関）なら、どこでも接種することができます。医療機関のリストは市町村が作成していますので、どこでワクチンを接種できるか、お住まいの市町村の広報誌、ホームページ、窓口などでご確認ください。</p>

【次ページに続きます】

お知ろせ

Information

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
（歯科）	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	
	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

税

今月の納期

- 11月25日までに納めましょう
- 町県民税（3期）
- 国民健康保険税（5期）
- 農集排使用料（11月分）
- 介護保険料（5期）
- 後期高齢者医療保険料（4期）

■インフルエンザワクチン接種の対象となる方

希望される方はどなたでもワクチンを接種することができます。

平成21年度の新型インフルエンザワクチン接種事業では、一時期、新型インフルエンザにかかったときに重症になる（肺炎や脳症などの重い合併症があらわれること）可能性が高い方などが優先的にワクチンをうつことになっていましたが、今年度は、希望される方はどなたでもワクチンを接種することができます。

■接種できるインフルエンザワクチンの種類

新型インフルエンザ（1種類）と季節性インフルエンザ（2種類）の3つに効果がある3価ワクチンを接種できます。

今年度のインフルエンザワクチンは

- (1) 新型インフルエンザ（A／H1N1）と季節性インフルエンザ（A／H3N2とB型）の3つに効果があるワクチン（3価ワクチン）
- (2) 新型インフルエンザ（A／H1N1）だけに効果があるワクチン（1価ワクチン）の2種類があります。

今年度は、新型インフルエンザ（1種類）と季節性インフルエンザ（2種類）の3つに効果がある3価ワクチンの接種が広く行われる予定です。

■インフルエンザワクチンの接種回数

今年度のインフルエンザワクチンは

- (1) 13歳未満の方・・・2回接種
- (2) それ以外の方・・・1回接種 となります。

新型インフルエンザワクチン
接種事業の詳しい内容は、
「保健福祉課☎84-7005」まで
お問い合わせください。

税務署からのお知らせ

相続又は贈与等に係る生命（損害）
保険契約等に基づく年金の
税務上の取扱いの変更について

相続、贈与等により取得した生命保険契約や損害保険契約等に係る年金の所得税の取扱いを改めることとしました。

この取扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは、国税庁ホームページ【www.nta.go.jp】をご覧ください。か、最寄りの税務署にお問い合わせください。

NTT東日本発行の 電話帳を配達・回収

NTT東日本福島支店では、12月中に順次、新しい電話帳（平成23年1月発行）を各家庭・事業所へお届けします。

その際、古い電話帳は新しい電話帳と交換いたしますので配達員に渡してください。なお、不在等で渡せなかった場合、後日、再度伺いますのでお問い合わせください。

〈問い合わせ〉

タウンページセンター

☎0120-506-309

町 長 室 日 誌

〈 10 月 分 〉

- 1日 会津総合開発協議会南会津地方部会県要望活動、県庁職員等郷友会
- 4日 会津を拓く最重点要望事項及び会津縦貫南道路に係る本省庁並びに顧問国会議員への要望活動
- 6日 町特別功労者告別式参列、庁議
- 7日 南会津農林事務所長来庁、郡山国道事務所長来庁、会津坂下駅長来庁
- 8日 南会津地方広域市町村圏組合事務局長他来庁
- 10日 只見町駅伝競走大会
- 13日 金婚夫婦表彰式、ブナセンターアドバイザー鈴木和次郎氏来庁
- 14日 南会津地方振興局長来庁
- 15日 町名誉町民故皆川迪夫氏告別式
- 16日 国道400号昭和金山間再開記念イベント
- 18日 南会津地方広域市町村圏組合用務のため檜枝岐村長と面談
- 19日 会津縦貫南道路整備促進に係る地方要望
- 20日 町商工会50周年記念式典
- 21日 福島県立医科大学出張、会津を拓く講演会
- 22日 福島県消防保安課長来庁、町土地改良区理事会、町名誉町民故皆川迪夫氏ご遺族来庁
- 24日 秋季消防検閲式
- 25日 南会津地方広域市町村圏組合用務のため下郷町長と面談、河井継之助子孫根岸千代子氏来庁
- 27日 町議会と共に地元選出国会議員への財源対策等要望活動
- 28日 南会津建設事務所長来庁
- 29日 福島県公立学校退職互助会南会津支部長外来庁
- 31日 エコパーク講演会

町民の消息

(10月1日～10月31日届出分・敬称略)

■ご結婚おめでとうございます

只見 新國 丈治♡只見 鈴木 美恵

■おくやみ申し上げます

新 國 淳 夫	43才	只 見	只 見
渡 部 タマエ	76才	長 浜	長 浜
本 名 清 紀	87才	黒 谷	黒 谷
馬 場 喜 美	94才	黒 谷	黒 谷
矢 沢 新	49才	福 井	福 井
飯 塚 マサヨ	95才	大 倉	大 倉
船 木 實	81才	黒 谷	黒 谷
馬 場 忠 雄	82才	蒲 生	蒲 生
角 田 善 信	85才	大 倉	大 倉
飯 塚 ヒロセ	90才	坂 田	坂 田
船 木 昭 雄	76才	黒 谷	黒 谷
荒 井 フ ミ	87才	長 浜	長 浜
齋 藤 司	85才	亀 岡	亀 岡

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年10月1日現在

人 口	4, 9 4 3 (- 3)
男	2, 3 5 7 (-)
女	2, 5 8 6 (- 3)
世帯数	1, 8 7 0 (- 5)
高齢化率	4 1. 4 %

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 3 出生 2 死亡 9

▽錦秋の只見ではさまざまなイベントが開かれています。駅伝競走大会、文化祭、学校では体育交歓会や学習発表会と、日々の努力の成果が披露される機会の多い秋、それぞれの会場で目にするベストを尽くす選手の姿や、最後までやり遂げる児童生徒の姿、そして卓越された技術や才能から作り上げられる作品の数々に感動の連続です。皆さんは只見の秋を満喫されていますか。▽今年キノコが良く採れると聞きます。秋の味覚の代名詞、皆さんの食卓に並ぶキノコ料理のメニューはなんでしょう。

あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎ 84-2059

おすすめ新着図書

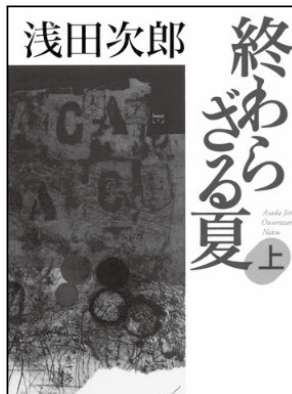
★借りぐらしのアリエッティ



宮崎駿／著（徳間書店）

宮崎駿のアニメーション映画「借りぐらしのアリエッティ」の本です。古い屋敷の床下に住む小人のアリエッティと両親。人間に見られてはいけないという小人の掟。人間の少年・翔とアリエッティの心温まる物語です。

★終わらざる夏（上・下）



浅田次郎／著（集英社）

物語の舞台は、1945年8月15日の玉音放送後に北の孤島・占守島で起きた「知られざる戦い」。

戦争の真の恐ろしさ、生きることの素晴らしさを訴える感動巨編。終戦から65年。新たな戦争文学に触れてみてはいかがでしょうか。

★朝日・明和・只見の各地区センターの図書室では、県立図書館から図書を譲り受けて貸し出しを開始しました。また、11月から各地区センターの図書を巡回させて、貸し出しをする「三地区センター巡回図書事業」も開始しております。みなさまのご利用をお待ちしています。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

ナメコ

菌類／モエギタケ科／滑子

10月末から12月、ブナやナラの森を歩いていると、宝石みたいにキラキラ輝くナメコが倒木に群生しています。ナメコは全国に自生しますが、東北や日本海側などの豊かなブナ林に多く分布します。食感や風味がよく、人気があるので昔から換金できるキノコとして重宝してきました。只見町では天然のナメコに加えて、伐り出した材木に菌を打って森のなかで育てる原木栽培がおこなわれ、いまでも大切な収入源として山里の暮らしを支えています。



特別企画展

○只見の秋の実り展 11月23日(祝)まで開催中！

今後の予定

○特別展示「只見の民具とその素材展」

期間：12月1日(水)～2月28日(月)

○第10回ブナセンター講座「只見の自然から生まれた民具(仮)」

講師：新国勇さん

日時：1月中旬予定

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

11月

● 13日(土)

「第19回只見新そばまつり」

…只見地区センター」

12月

● 23日(祝)

「只見スキー場オープン」

「喫茶キャンドル：只見スキー場」

▼只見駅前毎週日曜日に開催していたテントでの「ひんのめえ市」を、今年は11月14日(日)で終了いたします。駅の中では引き続き販売しておりますので、皆様の出品をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時